

施策	5402 歴史文化等の保護と活用						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	職員、市民						
施策が目指す姿	歴史文化遺産の調査・研究・保存の推進、伝統芸能活動等の継承支援、観光資源としての活用策の検討等を図る						
成果指標	文化財等指定件数...平成29年度で305件(現状値292件) 伝統芸能等保存団体構成者数...平成29年度で160人(現状値150人)						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [件]	予定	271.00	292.00	294.00	299.00	305.00
		実績	271.00	297.00			
	成果指標2 [人]	予定	98.00	150.00	153.00	157.00	160.00
		実績	98.00	115.00			
		単位コスト	1,621.09	980.41			
	成果指標3 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 []	予定					
実績							
	単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定	170,833	116,156	0	0	0	
	実績	158,867	112,747			0	
内 部 評 価	貢献度	上記施策の目標指数をH25の50%から目標値70%に向上させるには、適切な文化財保護行政と資料館事業が必要であるため、本単位施策の目標達成度による貢献度は高い。					
	達成状況	文化財の指定件数は、新指定4件、県指定への格上げ2件、合併による増加があり、目標達成となった。保存団体構成者数は、目標値に達しなかった。					
	課題	今後、各地域の文化財を掘り起こすことや、現在指定の文化財の再確認作業が必用であり、伝統芸能等保存団体に対する補助金制度の充実が必要。					
	取組方針	指定文化財の管理について計画をたて、伝統芸能活動等の継承を支援しながら、文化財の啓蒙啓発を図りたい。					
外 部 評 価	文化財等指定件数は順調に推移しており評価できる。内部評価で課題として認識しているように、各地域の文化財の掘り起しを進める必要があり、生涯学習施策でも指摘した「地域学」の推進と連携して、地域の歴史文化遺産の調査研究を進めることを検討されたい。伝統芸能等保存団体構成者数の実績は、目標に対して大きく乖離しており、団体の事情もあることから、この目標を達成することは非常に難しいと思われる。各団体の実情を把握し、他の施策との連携や視点を変えたアプローチ、有効な情報発信といった面での支援を検討されたい。						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	575101	文化財施設共通管理費				2,636	100
	575105	西方民俗資料室管理運営費				496	100
	575401	星野憩いの森管理費				781	100
	575701	地層たんけん館管理運営費				1,788	100
	576404	文化財等維持管理事業費				924	100
	576601	栃木市史料調査研究事業費				4,300	100
	577701	遺跡詳細分布調査事業費				7,378	100
	578001	伝統的建造物群保存事業費				49,895	100
	585806	岩舟石の資料館管理運営費				1,025	100
714301	文化財保存修理事業費				4,235	100	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100404	予算事業コード	577701	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	遺跡詳細分布調査事業費										主	5402	文化の振興	歴史文化等の保護と活用	
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 文化課 文化振興担当 文化財保護チーム						担当者	木村 等		従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		文化財保護法		事業期間	H23 ~ H26 年度		全体事業費 (人件費除)	17,400		千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういつ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・市内全域の埋蔵文化財について、所在調査を実施 ・文化財の保護、開発事業との調整用資料として活用 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・埋蔵文化財地図を作成 ・埋蔵文化財データを再整理							
	成果目標	文化財等指定件数...平成29年度で305件(現状値292件) 伝統芸能等保存団体構成者数...平成29年度で160人(現状値150人)													

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込														
事業費・指標の推移	国庫支出金	3,500		事業の内容 その成果	平成26年度						平成27年度					
	県支出金	0			【事業の内容】 ・岩舟地域現地踏査 ・中世城館縄張り図、地籍図作成 ・古墳所在現地踏査 【成果】 ・報告書刊行 ・窓口用遺跡地図データ整備完了											
	地方債	0														
	その他特財	0														
	一般財源	3,503														
	事業費 a	7,003														
	人件費 b	375														
減価償却費 c	0															
総事業費 a+b+c	7,378		指標名	算出方法		単位	事業の事後評価									
結果指標 1	1.00		調査地域数	調査地域数	H26目標値：1地域		箇所	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地			
結果指標 2								妥当	無	適正	有効	無	無			

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 平成26年度に遺跡地図を刊行し、事業は終了となった。(市内遺跡数747件) 今年度より文化財保護法に定める手続きの際に使用している。													
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考														
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	100404	予算事業コード	585601	事業区分		新規 / その他			基本施策	単位施策	
事業名	県指定文化財取得事業費							主	5402	文化の振興	歴史文化等の保護と活用		
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 文化課					担当者		従					
事業の性質		根拠法令等						事業期間	~ 年度	全体事業費 (人件費除)		千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入)						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標)					
	単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容 その成果		成果目標	文化財等指定件数...平成29年度で305件(現状値292件) 伝統芸能等保存団体構成者数...平成29年度で160人(現状値150人)						
事業費・指標の推移	国庫支出金			平成 26 年度				平成 27 年度					
	県支出金												
	地方債												
	その他特財												
	一般財源												
	事業費 a												
	人件費 b												
減価償却費 c													
総事業費 a + b + c				指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1			土地建物の取得	土地建物の取得	箇所								
結果指標 2			建物保存修理箇所	建物修理箇所	箇所								
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)												
事後評価備考													